

要 旨

試験委託者
環境庁

表 題

p-ジクロロベンゼンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－21日間

試験番号

EFP95003

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 204「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: *p*-ジクロロベンゼン
- 2) 方式: 流水式 (定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 供試生物: ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 試験濃度: 対照区、^{1.7}剤対照区 (助剤濃度、85.7mg/L)、0.25、0.50、1.0、2.0、^{0.9}および4.0mg/L (濃度公比: 2.0)
- 5) 暴露期間: 21日間
- 6) 試験水槽: 5.0 L容ガラス製水槽 (内寸約 21×16×23cm: 使用時、水面にガラス板を設置)
- 7) 生物数: 20尾/濃度区
- 8) 照明: 16時間明/8時間暗 (室内光)
- 9) エアレーション: 無し
- 10) 温度: 24±1℃
- 11) 試験液中の被験物質の分析: ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC・MS) 法

結 果

- 1) 21日間の最小致死濃度 = ^{1.7}~~0.9~~mg/L
- 2) 21日間の最小作用濃度 = ^{1.7}~~0.9~~mg/L
- 3) 21日間の最大無作用濃度 (NOEC) = ^{0.9}~~0.50~~mg/L
- 4) 7日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.8mg/L (95%信頼区間: 1.5mg/L～2.1mg/L)
- 5) 14日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.6mg/L (95%信頼区間: 1.4mg/L～1.9mg/L)
- 6) 21日間の半数致死濃度 (LC50) = 1.4mg/L (95%信頼区間: 1.2mg/L～1.7mg/L)

(上記濃度は、全て実測値に基づく値)